



全数把握の見直しへ 新型コロナウイルス感染症

令和4年9月28日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和4年第38週分・9月19日～9月25日)

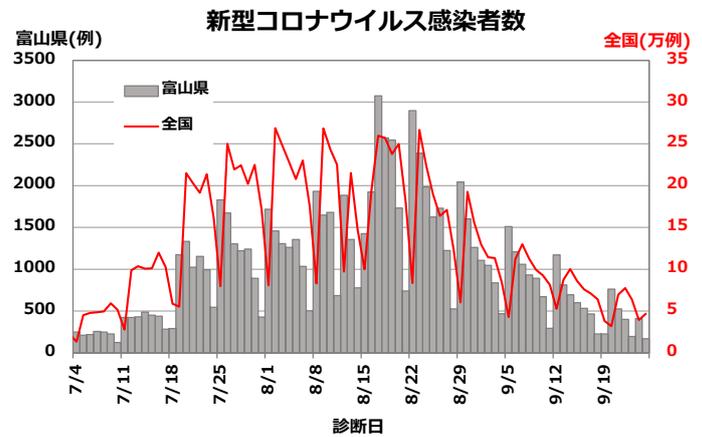
《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、9月25日時点で21,045,451例となり、44,367例の死亡が確認されています。全国の感染者数は、8月下旬頃から減少傾向となっています(図;折れ線グラフ)。県内の今週の感染者数は2,687例となり、全国の傾向と同様に減少しました(図:棒グラフ)。この状況を鑑み、県は7月27日から発令していた富山アラートを9月27日に解除しました。

9月26日より政府が全数把握を重症化リスクの高い患者に限定する方針としたことに伴い、新型コロナウイルス感染確認から療養までの流れが変更になりました。重症化リスクのある方(①65歳以上の方、②入院を要する方、③重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与又は新たに酸素投与が必要な方、④妊娠中の方)に対しては、これまで通り、医療機関での入院かもしくは厚生センター・保健所による健康観察が行われます。重症化リスクが低い方にウイルス陽性が確認された場合(①医療機関で確認された方、もしくは②1.無症状者対象の無料検査、2.薬局等で購入した抗原検査キットの結果から富山県陽性者登録センターで陽性確認された方)は、基本的に各自で健康観察を行い自宅療養となります。自宅療養されている方で健康や症状に不安がある場合は、富山県健康フォローアップセンター(TEL:0120-934-952、24時間対応)にご相談ください。一方、重症化リスクのない方についても全数把握の対象に含まれます。

感染拡大防止のため、基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が必要です。県のホームページでは感染確認時から療養終了までの流れを掲載しております(<https://www.pref.toyama.jp/120507/727kansen.html>)。また、衛生研究所のホームページでは9月12日より県内の週毎の発生状況とその考察を掲載しております(<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/index.html>)。



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 2,687件(暫定値)
- 二類感染症 結核 3件(①20歳代、男性 ②60歳代、男性 ③70歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件(①第37週診断分 ①②共に70歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(第37週診断分:80歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	1.83(↓)	2.69
2位	手足口病	1.76(↓)	3.14
3位	RSウイルス感染症	0.45(↓)	0.72
4位	ヘルパンギーナ	0.41(↓)	0.76
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24(↑)	0.21
6位	マイコプラズマ肺炎	0.20(→)	0.20



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第38週 令和4年9月19日～令和4年9月25日）

分類	疾患	今週報告分（第38週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	236	277	745	274	1,155 ^{※1}		2,687	11,056	9,712	36,510	13,092	51,565 ^{※1}	391	122,326
二類感染症	結核	1		2				3	2	4	30	10	27		73
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								2	2	4	1	10		19
四類感染症	E型肝炎								1						1
	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症			1				1	4		10	5	11		30
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3
	ウイルス性肝炎										3				3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										5	2	6		13
	急性脳炎										4				4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								3		5		8		16
	後天性免疫不全症候群										1		1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		4		5
	侵襲性肺炎球菌感染症										3		5		8
	水痘（入院例）								1	1			3		5
	梅毒								2		9	3	23		37
	播種性クリプトコックス症												3		3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			1				1			2			
				0.08				0.02							
RSウイルス感染症		1	4	3	3	2		13	31	51	320	74	353		829
		0.25	1.33	0.38	0.75	0.20		0.45							
咽頭結膜熱		1						1	56	37	155	12	117		377
		0.25						0.03							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		1		5		7	33	10	110	22	189		364
		0.25		0.13		0.50		0.24							
感染性胃腸炎		9	7	11	4	22		53	655	647	1,690	612	2,055		5,659
		2.25	2.33	1.38	1.00	2.20		1.83							
水痘				2				2	3	9	49	3	33		97
				0.25				0.07							
手足口病		5	7	18	3	18		51	72	164	528	57	409		1,230
		1.25	2.33	2.25	0.75	1.80		1.76							
伝染性紅斑						1		1	2	1	5	1	7		16
						0.10		0.03							
突発性発しん			1				1	23	26	117	31	95		292	
			0.13				0.03								
ヘルパンギーナ	4	3	3		2		12	86	112	59	4	50		311	
	1.00	1.00	0.38		0.20		0.41								
流行性耳下腺炎								1		5	4	1		11	
流行性角結膜炎			1				1	10	4	8				22	
			0.50				0.14								
細菌性髄膜炎											1	1		2	
無菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎		1					1		1	1	1			3	
		1.00					0.20								
	インフルエンザによる入院患者（※3）														0

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週(9月5日)～の集計です。